

頑張る子どもたち2021

オーケストラを通じた青少年育成のために

品川ジュニアフィルハーモニーオーケストラは、品川区唯一のジュニアオーケストラとして、2014年3月に設立され、小学校2年生から高校3年生までの児童生徒を対象に、夏のオーケストラ体験講座、秋の室内楽演奏会、冬の品川区の第9イベント、春の定期演奏会を中心に活動しています。



品川ジュニアフィルハーモニーオーケストラ(SJPO)

なかや かつひこ
団長: 中谷 克彦



SJPOは単なる演奏団体ではなく、オーケストラを通じた青少年育成団体です。活動では、自主性・協調性・挨拶などの礼儀を最も大切にしています。

指導はプロ奏者を中心とした指導の先生方が各パートごとにきめ細かくサポートをしてくださるので、初級者から上級者まで楽しみながらオーケストラを深く体験することができます。

昨年からのコロナ禍では、SJPO独自の感染予防対策ガイドラインを設ける、2グループの入替制にするなど工夫して合奏練習を続けてきました。個人と合奏練習、両方の質を高めることで、先日3/21のきゅりあん大ホールでの定期演奏会本番では素晴らしい演奏が実現しました。

小学生から高校生までの幅広い年齢層が、様々な学校から集まることで、協調性が促され、上級生はリーダーシップがはぐまれる中、団員たちの仲の良さは指導者やスタッフがうらやむほどです。団員募集は随時行っており、活動の様子や募集に関する詳細はホームページをご覧ください。

活動内容

活動場所 品川区内公的施設(主に五反田文化センターなど)
対象 小学校2年生～高校3年生
活動日時 月2回日曜日の午前中
会費 入団金:1000円、団費:半期各33,000円、別途演奏会参加費など
主な発表場所 きゅりあん大ホール、スクエア荏原ひろつかホールなど

今期の主な活動

- 夏休み「ジュニアオーケストラ講座」参加(全5日間)
- 秋:第3回SJPO室内楽演奏会
- 2021/12/25(土):「第9を歌おうinきゅりあん」参加
- 2022/3月:第8回定期演奏会

活動紹介
問い合わせ
団員募集

SJPO事務局 団長 中谷 まで

info.sjpo@gmail.com

品川ジュニアフィルハーモニーオーケストラ



心ひとつに 響け! 合奏の音色

コロナ禍でも指導者の工夫と熱意で歩みを止めないSJPO。演奏のみならず曲の背景なども学び、深い音楽理解を追求しています。活動の主役である団員の皆さんにSJPOへの思いを伺いました。

畠山 晴樹さん(高校2年生)

●どうして活動に参加しようと思ったのですか?

オーケストラのコンサートを聴きに行くと、ものすごい迫力で、様々な音色が複雑に入り組みあっていて、自分も入って演奏してみたいと思ったからです。

●今は演奏のどこに魅力を感じますか?

一人で弾くのと違って、他のパートとの掛け合いがあると、そこに魅力を感じます。ほかの楽器が活躍するとき(例えばトランペットのファンファーレ)も自分が弾いて(吹いて)いるような気持ちになり、とても楽しいです。

●目標や夢について教えてください。

オーケストラの目標ではSJPOでパート・ヴェンの交響曲が弾けるといいなと思っていたので、それが今年叶って良かったです。ヴァイオリンの夢はこれからオーケストラに入って演奏し続けるのと、チャイコフスキーヴァイオリン協奏曲を弾くことです。

窪田 璃乃さん(小学6年生)

●どうして活動に参加しようと思ったのですか?

小学校一年生の時に、オーケストラを題材にした映画を観て、オーケストラの一員になりたいと母に頼みました。

●活動で楽しみなことを教えてください。

課題曲を最初に聞いた時は、「難しいな」「私に出来るかな?」という心配になります。練習を重ねていくと全体練習の時にどんどん団員の気持ちが一つになって、演奏会の時には緊張とワクワクした気持ちがお互いに折り重なっていい演奏が出来た!と感じる時に達成感を感じます。

●目標や夢について教えてください。

大人になってもずっと楽器を楽しめる私でいたいです。



上村 海翔さん(小学5年生)

●どうして活動に参加しようと思ったのですか?

学校で配られた夏のワークショップのチラシを見て、面白そうと思ったからです。

●今は演奏のどこに魅力を感じますか?

1曲の中でも雰囲気や色々と変化していくところに演奏の魅力を感じています。

●活動で楽しみなところ

他の楽器と合わせる場所です。

●目標や夢について教えてください。もっと上手になり、指揮者に信用されるようになりたいです。

天野 桃花さん(高校1年生)

●どうして活動に参加しようと思ったのですか?

2020年は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い学校行事や部活動(合唱部)もなくなり、クラリネットの演奏の場がほぼなくなってしまいました。又、これまで約5年間個人でレッスンを受けており、音楽仲間がいまいませんでした。この2点により新しい挑戦をしてみようと思い、オーケストラに2020年7月に入団しました。

●今は演奏のどこに魅力を感じますか?

多種多様な楽器と、指揮者の先生の下、お互いに聴きあひ合わせ、みんなで一つの「音楽」を創っていくところ。音楽は言語に関係なく通じ合えるものなので、面白く楽しいと同時に不思議さも感じます。



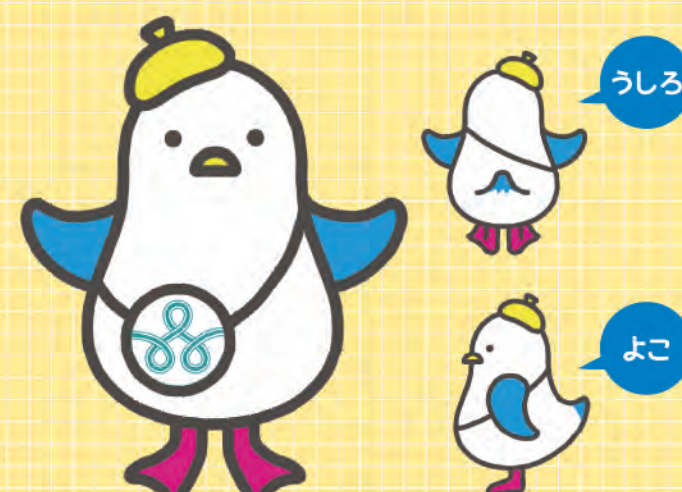
品川ゆかりアーティスト マスコットキャラクター決定!!

品川文化振興事業団では、品川区の文化芸術振興の一環としてアーティスト支援活動事業に力を入れています。この事業をもっと多くの方にPRしていくため、広報大使としてオリジナルマスコット制作を企画しました。「品川ゆかりアーティスト」のみなさんにデザイン募集を行い、最終人気投票の結果、マスコットデザインが決定しました!

今後は、SNS、Youtubeチャンネル等でも情報発信を積極的に行い、アーティストの活動紹介や地域のアート情報、当事業団の事業のPRに公式キャラクターとして活躍してもらう予定です。



〈しな一と〉は
品川の海で生まれたゆりかもめです。



名前 しな一と(shin@rt)

〈しな一と〉はshinagawa+art=shinartから名づけました。

〈しな一と〉は皆さんのもとに新しいアート(shin art)の風を届けます。

@は皆さんとの出会いで生まれる相乗効果(シナジー)を象徴しています。

好きなこと 散歩

性 格 新しいものの好き

特 徴 カチューシャを着替えることで
様々なアーティストに変身します

く せ 自分の訪れたところに足跡を残す



受賞アーティスト紹介



自分の作品を公式キャラクターにしていだけるという大きな夢が叶いました。大変ありがたい機会をいただき感謝しております。元来ゆるキャラが大好きということもあり、コンセプトもかなり練って考え出したキャラクターなので実現化されるのは本当に嬉しいです。

<デザインコンセプト>

○品川から広い海へと飛び立つ、区の鳥「ゆりかもめ」をモチーフにしています。

○身につけているポシェットは、色々なアーティストに変身できる筆や音符などのアイテムが入っています。アーティストの活動は多岐に渡っているので、全ての表現活動を尊重し、「変身できる」というコンセプトにしました。

イラストレーター

橋爪 かおり Kaori Hashitsume

品川区在住。おもにファミリー、健康介護系、教科書教材向けの可愛いイラストとリアルなタッチの植物画を描く。最近は靴や服などに手書きでドローイングも始めた。

事業団の活動に賛同いただける品川にゆかりのあるアーティストを募集!

「品川ゆかりのアーティスト」ページに掲載している掲載・登録基準を満たし、登録申請書の提出後、審査の通った方を登録掲載。

品川ゆかりアーティストとは?

品川区出身、在住、在勤、区内校卒業、品川区を活動拠点とするなど、品川にゆかりがあり、アーティスト活動をしている方々。

当事業団では、「品川ゆかりアーティスト」の活動をさまざまな方法で情報発信することにより、アーティストの皆様を支援するとともに、地域における文化芸術活動を活性化し、充実させることを目指しています。

支援活動の一つとして、「品川ゆかりのアーティスト」専用ページにてアーティストのプロフィール紹介をしています。

品川ゆかりのアーティスト

検索



品川ゆかり
アーティスト
募集



お問い合わせ: 文化振興課文化振興係 ☎03-5479-4112 (平日:9:00~17:00) ✉sculture@shinagawa-culture.or.jp